



Environmental Report
環境報告書
2016

兵神裝備株式会社

第1章 概要

ごあいさつ	1
環境方針	2
環境への影響	3
プラスの環境目的・目標と実績	4

第2章 環境マネジメントシステム

環境管理体制	5
監査結果	6

第3章 環境負荷低減への活動

太陽光発電電力が610kWに	7
照明光のLED化	7
ファンコイルの増設	7
サーバーの統合	8

第4章 地域社会とのコミュニケーション

小谷城址の環境整備ボランティア	9
神戸市の地域イベントでモノポンプを紹介	9
地元神社の手水舎の上屋新設修復を寄進	9
第2回ミニロボ大会開催	10

第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表

本社	11
営業部	12
滋賀事業所	12

環境保全活動のあゆみ

アンケート

編集方針・報告書の範囲

編集方針 「環境報告書2016」は、環境省が発行した「環境報告書ガイドライン」を参考に編集しています。また、環境目的・目標や具体的な取り組み状況、サイト別の環境パフォーマンスについては、できるだけ写真やグラフを活用いたしました。

対象期間 2015年度(2015年1月1日～2015年12月31日)

対象範囲 この環境報告書は、下記事業所すべてを対象範囲としています。

■兵神装備株式会社

本社、滋賀事業所、技術研究所、サービスアネックス、東京支店、大阪支店、さいたまオフィス、横浜オフィス、滋賀オフィス、名古屋営業所、福岡営業所

■エイシンテクノベルク株式会社

本社、滋賀事業所

発行部署 兵神装備株式会社 全社環境事務局

〒652-0852 神戸市兵庫区御崎本町1-1-54

TEL:078-652-1111 FAX:078-652-4504

発行日 2016年7月20日(次回発行予定:2017年6月)



兵神装備株式会社

代表取締役社長 小野純夫

昨年から今年にかけて、鬼怒川堤防の決壊や熊本県・大分県の大地震の発生など、自然の猛威が一段と激しさを増しています。その一方で昨年末COP21にて2020年以降の温暖化対策の国際枠組み『パリ協定』が正式に採択され、異常気象の原因となる温室効果ガス排出量を実質的にゼロにしていく方針が打ち出されました。このような状況下、当社は継続的に環境負荷低減活動を推し進めています。

製品開発においては、水資源を有効に活かすべく、浄水場で活性炭の混合液(スラリー)を連続注入する「ヘイシン カーボインジェクションユニット」を完成しました。

社内の設備面では、工場の屋根への太陽光発電システムの更なる搭載、夏場の作業環境を改善するための地下水を利用したファンコイルユニットの増設、天井灯のLED化、本社のコンピューターサーバーの統合などを推進し、使用電力の削減に努めました。

地域活動では、2013年に当社が設立した一般財団法人が主催する「第2回ミニロボサッカー大会」を長浜市で開催し、社員の家族に加えて一般の方にもご参加いただきました。他にも、小谷城跡の山桜苗木植林活動への参加や、神戸市の地域イベントでモーターポンプを使い小学生に水道の仕組みを学んでもらう試みを実施しました。

この報告書をお読みいただくことで、当社の環境保全や社会貢献活動をご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

環境理念

当社は、地球環境保全を人類共通の最重要課題と認識し、環境にやさしい製品づくりを通し、事業活動のあらゆる面で、「持続的発展が可能な社会」の構築に貢献いたします。

スローガン

限りある資源を大切にし、環境にやさしい製品を創り続けます。

基本方針

当社は、広く産業界で多様なニーズに応えるヘイシンモノポンプの開発・生産・販売をしています。

そして、その事業活動において環境に影響を及ぼす可能性を持っています。

私たちは、これらの環境への負荷を削減するだけでなく良い影響を与えるための組織体制・管理システムを確立し、継続的に下記の活動に取り組んでいきます。

1. 下記の項目に目標を設定して取り組み、その達成状況を確認し、状況に応じて改善していきます。
 - ① 廃棄物の削減及び適正処理
廃棄物の削減・分別収集、再利用の促進、適正処理を行います。
 - ② 排水の適正処理
化学物質の適正処理、関連装置の改善により排出物の削減と適正処理に努めます。
 - ③ 資源・エネルギーの効率利用
資源・エネルギーの効率的な利用により環境への負荷を削減し、資源のリサイクル活動・グリーン調達に努めます。
 - ④ 環境にやさしい製品の設計・開発
有害物質を排除した製品や省エネ、長寿命化製品の設計・開発に努めます。
 - ⑤ 環境製品の販売促進活動
省資源・省エネに貢献するグリーン製品の販売促進に努めます。
2. 環境法令・条例・協定、その他当社が受入を決めた要求事項に関し、社内自主基準を定め、徹底遵守いたします。
3. 環境教育、広報活動を行い、全社員が環境方針を理解し、環境保全意識の向上を図るよう努めます。
4. 緊急事態発生時の環境汚染被害を最小限にするため、予防・緊急時対応に万全を期します。
5. ISO14001 に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、維持・改善に努めます。

2003年1月

兵神装備株式会社
ヘイシンテクノバルク株式会社
代表取締役社長 小野 純夫

当社は、

- 「ヘイシンモノポンプ」の研究開発・設計、製造、販売、メンテナンスサービスを行っています。
- 事業所内での諸活動による環境負荷は、エネルギー消費に伴う二酸化炭素の排出、廃液、廃プラスチック、一般廃棄物が主なものです。
- 省エネルギー、廃棄物の削減、化学物質の管理を活動の柱とし、全社的なあらゆる活動において、環境負荷低減に取り組んでいます。



※CO₂排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油、灯油の消費量をすべて換算し、合計しました。
(各換算係数は、環境省ガイドライン、関西電力、大阪ガスのデータを参照しています。)

プラスの環境目的・目標と実績

前年に引き続き、省エネ・省資源・長寿命化製品の開発・設計・製造・販売を推進しました。

■「ヘイシン カーボインジェクション ユニット」を発売

浄水場に向けて、活性炭と水の混合液（スラリー）を連続注入する装置「ヘイシン カーボインジェクション ユニット」を発売しました。

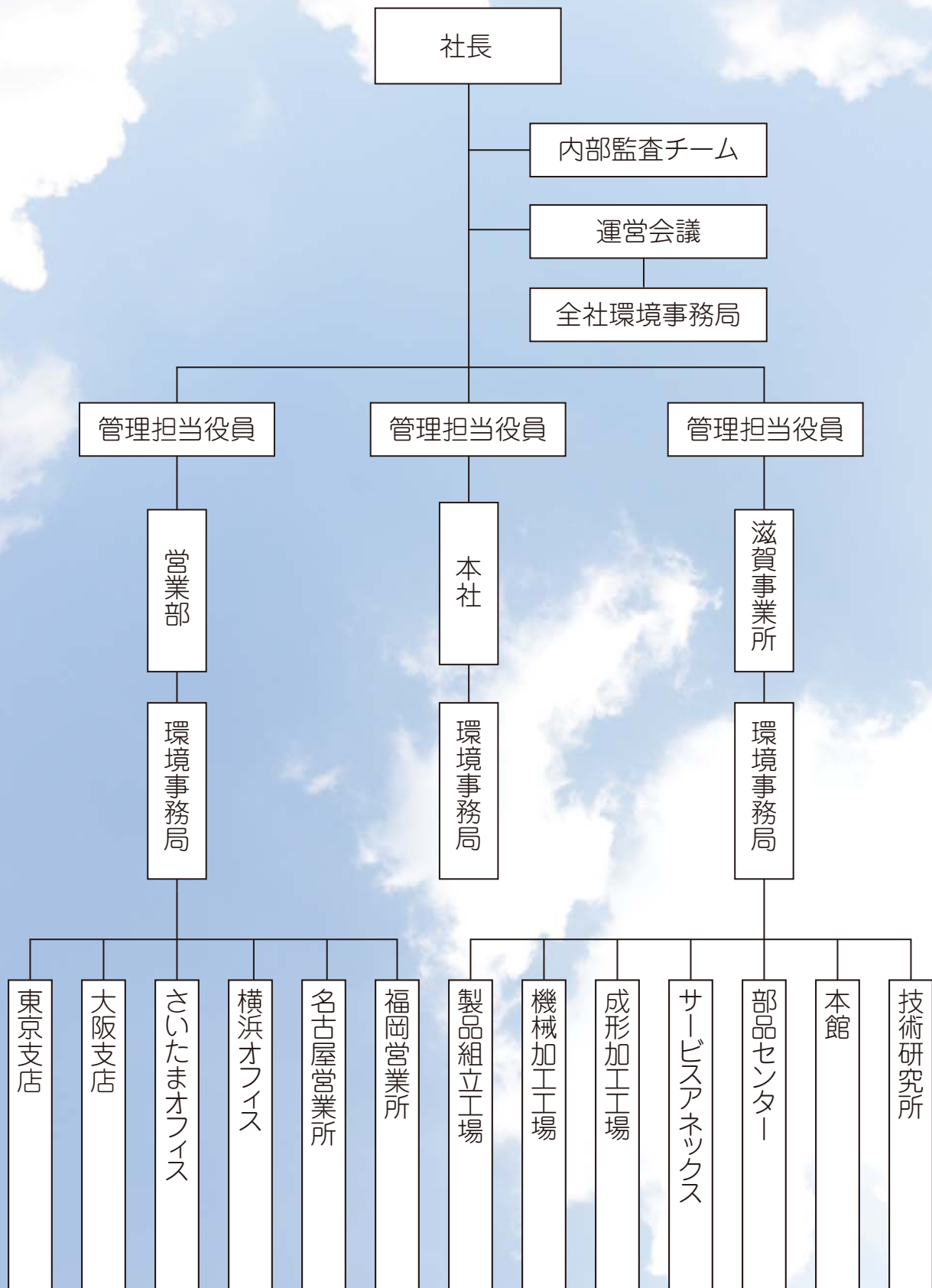
近年、より安全でおいしい水をユーザーに供給するため、水道用の原水に活性炭を注入される水道事業者様が増えています。これは、原水に含まれる発がん性物質や汚染物質の除去、あるいは臭気の抑制を目的としています。

今回開発したこのユニットは、当社の粉体用モノポンプで粉末活性炭を注入場所まで移送し、注入直前にカーボインジェクター（活性炭注入器）で水と混合しながら水道原水に連続注入するものです。従来の方式と比べて、省スペース、省エネ、設置工事が容易といったメリットがあります。

当社はこのコンパクトなユニットを浄水場マーケットに導入し、浄水の品質向上に貢献していきます。



「ヘイシン カーボインジェクション ユニット」
カーボインジェクター（左）と粉体ポンプPNS型（右）



内部監査

廃棄物処理や電力削減の状況、及び遵法確認を中心とした内部監査を実施しています。
各サイト共に不適合事項はなく、環境マネジメントシステムが適切に運用されていることを確認しました。



外部監査

テュフラインランドジャパンによる、3年に一度のISO14001再認証監査を受けました。
今回の監査は全部門を対象に、7月17日～24日にかけて、東京支店、名古屋営業所、本社、滋賀事業所にて行われました。

各拠点各部門共に、この3年間の活動実績における不適合事項はなく、認証登録を維持する運びとなりました。また今回より、認証の適用対象をこれまでの「一軸偏心ねじポンプシステム」から「産業用ポンプシステム」に拡張し、ロータリーロブポンプや破碎機など新しい製品・業務も包含されることとなりました。



■ 太陽光発電電力が610kWに

社会の節電要請や、CO₂排出量の低減への貢献を目指して、サービスアネックスの屋根に100kWを発電する太陽光発電システムを設置しました。2006年に技術研究所屋根上に初めて太陽光発電システムを導入して以来、各工場の屋根に順次システムを導入してきましたが、2015年に全ての工場建屋の屋根へ設置を完了し、合計で610kWの発電となりました。増設した100kWの発電電力はすべて電力会社に売電します。



サービスアネックスの太陽光パネル

■ 照明光のLED化

滋賀事業所の天井灯を蛍光灯からLEDランプに差し換えることにより、省エネを図っています。2015年度は執務室を中心に交換を進めました。この施策により本館の使用電力量の2.4%を削減、また技術研究所の1.5%を削減しました。今後も引き続き、事業所内の食堂、会議室、テストルームなどを順次変更していきます。



天井灯LEDランプ

■ ファンコイルの増設

滋賀事業所ではここ数年現場での夏場の作業環境を改善し、省エネを推進するため、地下水を利用して室温を下げるファンコイルユニットを設置しています。2015年は、技術研究所や工場の各所にユニットを増設し、一層の作業環境の改善と省エネを促進しました。また、技術研究所や製品組立工場では、すでに利用した地下水を、再度、再再度活用することでさらに効率よく冷房を実現できています。



成形加工工場に増設されたファンコイル

■ サーバーの統合

本社にあるコンピューターサーバー10台を7台に統合することにより、本社における使用電力を約1.5%削減することができました。今後も引き続きサーバーの統合を行っていく予定です。



本社サーバー機器

■ 小谷城址の環境整備ボランティア

小谷城址保勝会が主催する小谷城跡の山桜苗木植林活動に、当社から5名がボランティアとして参加しました。小谷城は戦国大名浅井氏の居城として440年前に築城され、その城跡は当社滋賀事業所から約4 kmに位置し、全国でも珍しい後世の手が入らない原形をとどめるものです。今回の活動には、小谷城址保勝会と当社社員合わせて約25名が集まり、小谷城跡一帯に新しい山桜の苗木15本を植えて鹿除けネットを張りました。



山の斜面に山桜を植樹している参加者

■ 神戸市の地域イベントでモノポンプを紹介

神戸市が8月に垂水年金会館(同市垂水区)で開催した夏休み親子イベント「たるみ水の旅」に参加しました。このイベントは「毎日の生活に欠かせない水について垂水の水環境の中で学ぶ」ことを狙いとしています。当日は、手回しポンプやスケルトンポンプを持ち込んで、小学生を中心に来場者にモノポンプを紹介し、水道の仕組みを学んでいただきました。



手回しポンプを楽しむイベント参加者

■ 地元神社の手水舎の上屋新設修復を寄進

滋賀事業所の地区守護神である東物部観音堂(光明寺、十所神社)境内にある「手水舎」(手洗い所)の上屋新設修復を寄進しました。この「手水舎」は、昭和61年8月に当社の初代社長により寄進されたものですが、その後平成10年秋の台風による被害で上屋がないままでした。3年後に33年に一度の御開帳を迎えるにあたり、地元の要請を受け修復寄進を行い、神社本庁より感謝状を授与されました。



修復された「手水舎」

■ 第2回ミニロボ大会開催

当社の社会貢献活動を推進する母体である、(財)ヘイシンイニシアティブ基金が主催する「第2回ミニロボ大会」が、8月に長浜市の勤労者福祉会館で開催されました。第1回大会は社員とその家族だけでしたが、今回は一般の方からも参加を募り、当日は社員の子供15名と一般の子供18名の計33名が優勝を目指し熱戦を繰り広げました。

また今回は初めての試みとして、事前にロボット組立教室を開催し、親子でロボットを組立て、ものづくりの楽しさを味わってもらいました。



ミニロボ大会の対戦風景

本社

環境側面	2014年		2015年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	133,184	132,588	129,936	125,770

本社の2015年度の環境目標は、2014年度の年間購入電力量(132,588kWh)の-2%と決めました。

節電対策としては、

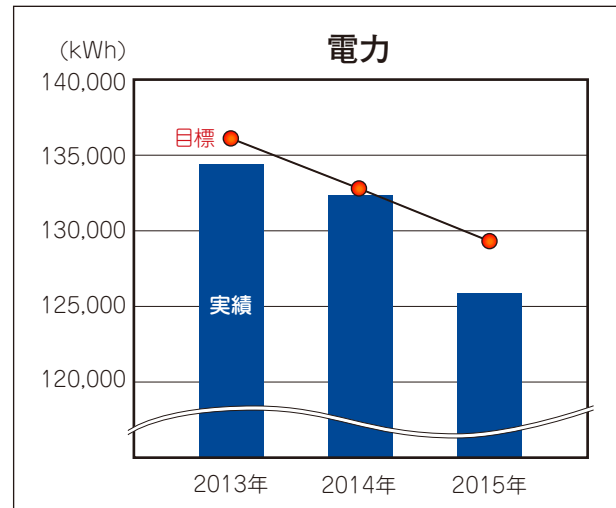
- 1) 別館4Fサーバー全10台を統合によって7台に減らす
- 2) エアコン室外機の直射日光を回避するサンシェードの設置

を実施しました。

これらの施策に加え、暖冬によるエアコン電力消費の低減も相まって、購入電力量は2014年度比で-5.1%を達成しました。

また夏期・冬期のデマンド値削減(追加目標)について

は、2010年度に比べピーク電力、月別電力量ともに、10~20%程度削減しています。その他、コピー用紙の使用量は前年比1.5%増加、リサイクル紙の排出も22%増加となりましたが、水道使用量は8%削減、一般可燃ゴミも11%削減しました。粉体の試験後の廃棄量は、昨年とほぼ同じ960kgになりました。

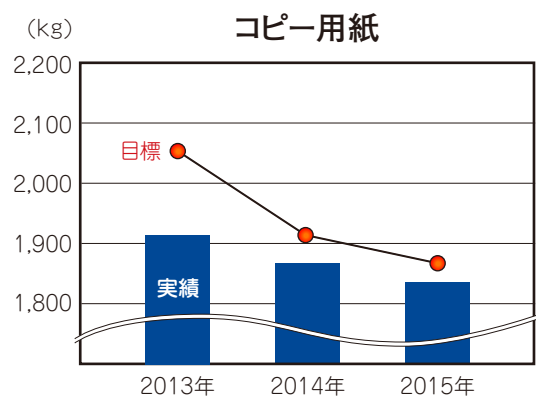
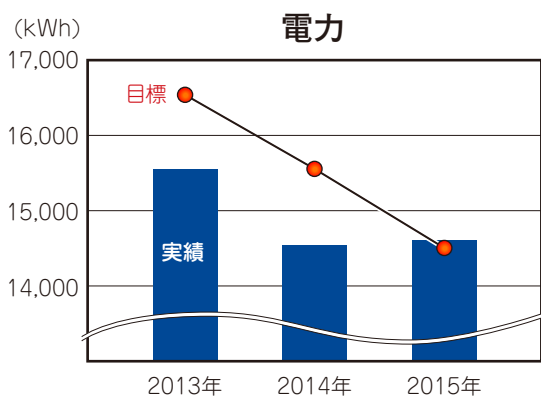


営業部

環境側面	2014年		2015年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	156,582	145,930	145,930	146,609
コピー用紙(kg)	1,910.0	1,871.7	1,871.7	1,845.7

電力に関しては目標値より若干のオーバーとなりました。電力の削減に関しましては、昨年より「無理なく・無駄なく」をスローガンとして活動を行っていますが、これを継続していきます。

2016年度は、電気・コピー用紙とも前年度の実績を維持することを目標とし、ヘイシンモノポンプの活用によりお客様の消費電力削減に役立つ事例・情報をより一層積極的に開示・ご説明することを継続してまいります。

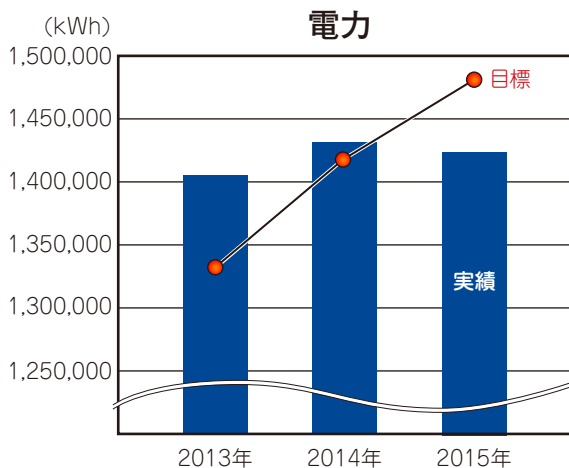


滋賀事業所

環境側面	2014年		2015年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	1,425,492	1,435,440	1,484,451	1,433,155

2015年は試験研究開発に使用設備など不確定な部分を除外した電力を活動対象としました。

設備の増減等を考慮し数値的な目標は前年対比+3.4%に設定しましたが、実績は目標値に対して-3.5ポイントとなりました。ポンプの生産金額が+1.4%であり、また新規設備の導入もありましたが、増築計画による現場及び事務所の集約、省エネ機器への更新などにより電力が削減されました。



当社の活動

世の中の動き

<ul style="list-style-type: none"> • 滋賀工場でISO14001認証取得に向けたエコプロジェクト発足/環境方針制定 	1998	<ul style="list-style-type: none"> • 地球温暖化対策推進法制定
<ul style="list-style-type: none"> • 滋賀工場ISO14001認定取得 	1999	<ul style="list-style-type: none"> • PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律)制定
<ul style="list-style-type: none"> • 環境報告書2001発行 	2000	<ul style="list-style-type: none"> • 環境型社会形成推進基本法制定 • グリーン購入法制定 • 建設資材リサイクル法制定/食品リサイクル法制定 • 資源有効利用促進法制定
<ul style="list-style-type: none"> • 全社に拡大してISO14001認定取得を目指すことに決定 全社環境綱領の制定 	2001	<ul style="list-style-type: none"> • 環境省発足 • 家電リサイクル法施行
<ul style="list-style-type: none"> • 拡張監査・滋賀工場更新審査 • 全社ISO14001認定取得 	2002	<ul style="list-style-type: none"> • PRTR法完全施行 • 土壌汚染対策法制定 • エネルギー政策基本法制定 • 地球温暖化対策推進法改正
<ul style="list-style-type: none"> • 化学物質管理委員会発足 • グリーン調達推進委員会発足、説明会開催 • 化学物質管理規定発行 • 滋賀工場に環境適合機能を誇る技術研究所を開設 	2003	<ul style="list-style-type: none"> • WEEE(EU廃電気電子機器リサイクル指令)発効 • RoHS(EU電気電子機器危険物質使用制限指令)発効 • 首都圏ディーゼル車規制施行 • 環境教育推進法施行
<ul style="list-style-type: none"> • アスベスト不使用で代替品に切り替え、ホームページでもアスベスト不使用宣言 • ノンタールエポキシ塗料、鉛フリー塗料に切り替え下水道事業団仕様に対応 • 環境報奨規定を制定 • 本社ビルを環境適合機能化ビルにリニューアル 	2004	<ul style="list-style-type: none"> • 気候変動枠組条約第10回締結国会議(COP10 アルゼンチン) • 国際環境規格ISO14001-2004年版発行 • 大気汚染防止法改正
<ul style="list-style-type: none"> • 技術研究所で太陽光発電システムを稼働 • 神戸本社で太陽光発電システムを導入 • 製品/ヘイシンロボティクスシリーズに分解・洗浄性を高め、残液ロス低減の新製品をラインアップ 	2005	<ul style="list-style-type: none"> • 自動車リサイクル法完全施行 • 京都議定書発効 • 日本国際博覧会「愛・地球博」が愛知県を舞台に開催 • COP11 カナダ・モントリオールで開催
<ul style="list-style-type: none"> • 環境材料分科会を滋賀工場で開催(滋賀県東北部工業技術センター主催) • サービスアネックス工場を環境に配慮してリニューアル • 滋賀工場に環境最適機能を誇るヘイシンテクノパルクテクニカルセンターを開設 • 本社の外構を環境に配慮してリニューアル • 製品/脱水ケーキ圧送用途で環境に優しいNZF型ポンプを新発売 	2006	<ul style="list-style-type: none"> • COP12 ケニア・ナイロビで開催 • RoHS指令開始(EU) • REACH採択(EU)
	2007	<ul style="list-style-type: none"> • G8ハイリゲンダムサミット開催(ドイツ) • COP13 インドネシア・バリで開催 パリロードマップ採択 • 食品リサイクル法改正 • フロン回収破壊法改正

当社の活動

- 滋賀工場オープンカンパニーを開催
- 製品/環境に優しいハイシンドラムポンプシステムのペールシリーズを新発売
- 6月5日を「兵神装備環境の日」として第1回環境大会を開催
- 騒音や排ガスを低減した、大型展示車を製作
- 第3回発明大会にて「メタンハイドレードについて」記念講演実施
- 技術研究所に、地下水を利用した空調ファンコイルを設置

- 省エネや安全に配慮した新しい営業展示車を製作
- 浄水場の薬液注入用ポンプ装置「ハイシンモノポンプ薬注ユニット オールinワン」を発売
- 製品組立工場内に、作業環境を改善する「作業ルーム」を設置

- 本社ビルを省エネを主眼に全面リニューアル
- 社員パソコンに、社外から遠隔操作可能なシンククライアント機能を導入
- 太陽電池、LEDの製造に貢献する「ハイシンマイクロディスプレイセンサー」発売

- 食品製造に貢献するハイジェニックシリーズ「NHL型」、二次電池製造に貢献する新材質「アルミナセラミックローター」を発売
- 夏期・冬期に節電対策を実施
- 日経ニューオフィス賞「近畿ニューオフィス賞特別賞」を受賞

- 食品や薬品の包装技術を支える短型ポンプ「NHL-G型」、耐摩耗性に優れた下水向けポンプ「NE88型」を発売
- 電力不足に対応するため、太陽光発電システムとガスコージェネレーションシステムを導入
- ロボディスプレイND型に採用されている軸シールに関する発明により、文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞
- 東日本大震災の被災地向け復旧支援事業として、東北各地の下水処理施設にモノポンプを納入

2008

- 京都議定書約束期間スタート
- 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」及び「地球温暖化対策推進法」改正
- G8洞爺湖サミット開催(日本)
- 化学物質に関する欧州連合(EU)の「REACH(リーチ)規制」が本格施行
- 東京国際環境会議開催
- 国連環境計画(UNEP)が「環境版ニューディール政策」を提唱
- 全国型エコアクション・ポイント開始(環境省)

2009

- <国内>
- 新型インフルエンザが流行
 - エコカー減税と高速道路料金上限1000円の割引を実施
 - 太陽光発電の買取制度始動
 - エコポイントでグリーン家電の買い替え促進
- <海外>
- COP15/MOP5、コペンハーゲンで開催
 - 米国を中心に、環境分野への重点的な投資で景気回復や雇用創出を図る「グリーンニューディール」が始動
 - EUで、白熱電球の販売禁止令が発令される
 - 7月の世界の海水温が過去最高を記録

2010

- <国内>
- 生物多様性条約の第10回締約国会議(COP10)名古屋会議の開催
 - 国内高速道路の一部無料化社会実験が開始
 - 国内緊急経済対策として住宅エコポイントが3月から申請受付が開始
- <海外>
- EU、2020年までのエネルギービジョンをまとめた新戦略を公表

2011

- <国内>
- 福島第一原発の事故と、原子力発電の見直しおよび自然エネルギーへの転換加速
 - 電力会社からの節電要請、計画停電の実施
 - 再生可能エネルギー促進法が制定
- <海外>
- 福島原発事故で欧州に脱原発の動き
 - タイで大規模な洪水が発生、多くの工場で操業停止
 - 世界人口が70億人突破

2012

- <国内>
- 京都議定書第一約束期間が終了し、改正京都議定書を採択(COP18)
 - 白熱電球の国内生産が終了
 - 三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興ビジョン
- <海外>
- 中国南部で河川にカドミウムを垂れ流し、市民はペットボトルに殺到
 - 北京市を覆う厚いスモッグ、「PM2.5」が403の数値を示し米大使館が「有害」との判断
 - 「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」20年ぶりにブラジルで開催。国連加盟188ヶ国参加

世の中の動き

当社の活動

- 電力不足に対応するため、太陽光発電システムを新たに300kW増設。また地下水を利用して冷房するファンコイルも増設。
 - 下水処理場などで使用する、長期安定した寿命を持つ脱水ケーキ用「SHD」を開発。
 - 「びわ湖の日」の7月1日に行われた「琵琶湖・余呉湖一斉清掃活動」に参加。
-
- 省エネ・省資源・長寿命化を主眼とする製品、「鋼板補強材塗布システム」「マイクロリットルシリーズ HMC型」「磁性ゴムステーターSHLG」「ホースフリーシステム」を開発、発売。
 - 滋賀事業所の部品センター屋根上に100kWの太陽光発電システムを設置し、12月から発電を開始。合わせて510kWを発電。
 - 当社が提供した支援金が建設資金の一部に充てられた、東日本大震災での遺児のケア施設「レインボーハウス」が完成し仙台に竣工。
-
- 浄水場に向けて、活性炭と水の混合液（スラリー）を連続注入する装置「ヘイシン カーボインジェクション ユニット」を開発、発売。
 - 滋賀事業所のサーブिसアネックス屋根上に100kWの太陽光発電システムを設置し、発電を開始。合わせて610kWを発電。
 - 小谷城址保勝会が主催する小谷城跡の山桜苗木植林活動に、当社からボランティアとして参加。

2013

<国内>

- 記録的猛暑、四万十市で観測史上最高気温41.0度を観測
- 福島第一原発で地下水の流入による汚染水の増加と貯蔵槽からの放射能汚染水漏れ
- 富士山の世界文化遺産登録と入山料論議

<海外>

- 中国でPM2.5等の大気汚染による濃霧が過去50年で最多
- 水銀に関する水俣条約の採択92か国署名、2020年以降使用・廃棄が規制される
- 猛烈な台風がフィリピン中部を直撃、約1600万人が被災

2014

<国内>

- 長野・岐阜の御嶽山で、水蒸気噴火が発生。57人の死者を出す。
- トヨタ自動車の世界初の一般向け燃料電池自動車“MIRAI”の販売を発表。
- 広島市北部で局地的な豪雨による大規模な土砂災害が発生。
- 国際司法裁判所が、日本の南極海での調査捕鯨の中止を決定。

<海外>

- アフリカでエボラ出血熱の感染拡大。
- イスラム過激派組織“イスラム国”が勢力拡大、米軍がイラクで空爆開始。

2015

<国内>

- フロン排出抑制法改正4月:エアコン等簡易点検・定期点検の実施と記録の保管義務。
- 鬼怒川の堤防決壊で大きな被害が発生。
- 九州電力川内原発第1号機が再開、2年ぶりに国内の原発0に幕。

<海外>

- ISO14000の規格全面改定。
- COP21、「パリ協定」を採択、地球温暖化防止に向けた新たな法的枠組みがまとまる。
- ネパールでM7.8の大地震、死者1,500人の大惨事。

Q1:この環境報告書をお読みになってどうお感じになりましたか。(1つだけ○をつけてください)

1. 読みやすさはいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

2. 内容はいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

3. 兵神装備の環境問題への取り組みはどう評価されましたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

4. この環境報告書をお読みになって、物足りない内容や改善した方が良い点がありましたら、具体的にお聞かせください。

Q2:兵神装備の環境問題の取り組みについて、どのようなことをご希望されますか?具体的にお聞かせください。

Q3:この環境報告書をどのようなお立場でお読みになっていらっしゃいますか?

- 1.金融・投資関係 2.格付機関 3.行政関係 4.事業所近隣住民 5.製品購買関係 6.環境の専門家
7.報道関係 8.企業の環境担当 9.学生 10.製品ユーザー 11.その他具体的に()

ご協力ありがとうございました。

お差し支えない範囲でご記入をお願いいたします。

(ふりがな)
お名前

ご住所 〒

ご職業・ご勤務先

TEL:

FAX:

E-Mail: